

I. 年間収入に占める委託費の割合

2, 370千円 / 535, 753千円 (注) = 0.4%

(注) 当会平成17年度収支計算書参照

II. 委託費支出明細書

1.委託費の名称	平成17年度我が国重要産業の競争力強化に向けた切削加工技術の高度化の方向性等に係る基礎調査
2.事業の目的及び内容	
(1)目的	<p>川上の中小企業と川下企業との間のいわゆる「情報の非対称性」を解消し、中小企業による川下企業のニーズに応えた技術開発、川下企業による中小企業の技術を活かした製品開発の活性化等に資するため、我が国の幅広い基幹産業を支える重要な産業技術である切削加工技術における、我が国の現状把握（競争力の国際比較と強み・弱み分析等）、川上産業側における技術開発シーズ、川下産業における技術開発ニーズについて調査を行う。さらに、技術の高度化を阻害している要因についても調査する。</p> <p>これらを踏まえて、我が国経済を牽引している産業分野の競争力を高める上で必要な技術指針案を策定する。</p>
(2)具体的な内容	<p>(1)技術シーズ・ニーズ調査</p> <p>①川上産業における技術シーズの調査 川上産業における技術シーズを抽出し、抽出技術に関する専門家に対するヒアリング調査を行い、当該技術の特徴・用途、当該技術が関連する産業とその市場動向、当該技術の現在の技術水準と技術開発動向等の情報を収集し、整理した。</p> <p>②川下産業における技術に関する技術開発ニーズの調査 ユーザー企業に該当する川下の産業分野（自動車、航空機、電気・電子、医療等）におけるニーズを明らかにするための、主要企業を対象としたヒアリング調査を行い、川下産業（ユーザー企業）が求める技術の方向性・レベル、①で整理した技術開発シーズに対する意見等の情報を収集し、整理した。</p> <p>(2)技術の高度化の阻害要因の調査 技術の高度化を阻害している要因を調査するため、当該技術のユーザー企業に該当する川下の産業分野（自動車、航空機、電子・電気及び医療等）及び川上産業（中小企業）の主要企業を対象にヒアリング調査を行った。</p> <p>(3)切削加工技術に関する指針案の策定、提言 （1）、（2）の調査結果を踏まえ、我が国経済を牽引している産業分野の競争力を高める上で必要な当該技術に関する技術指針案を策定、併せてその技術革新、競争力強化を阻害すると思われる事項を精査し改善に向けた提言を示した。 指針策定にあたっては、技術指針策定委員会を設置し、同委</p>

	<p>員会の指導・助言を得た。また技術指針案については、ユーザー企業の業界団体（自動車、電気・電子機器等）に対して提示・意見を聴取した上で内容の精査を行った。</p>	
3.委託先の公益法人の名称	社団法人 日本工作機械工業会	
4.委託費支出実績額	2,370 千円(A)	
5.委託費における管理費		
(1)人件費	1,122 千円	
(2)一般管理費	109 千円	
(3)その他の管理費		
	内 容	金 額
		0 千円
	合 計	0 千円
	合 計	1,231 千円
6.外部への支出		
(1)外部に再委託されているものに関する支出		
	支出内容	支 出 先
		金 額
		0 千円
	合 計	0 千円(B)
(2)(1)以外の支出		
	支出内容	支 出 先
		金 額
	ヒアリング謝礼（図書カード）	ヒアリング調査先企業
		70 千円
	委員長謝礼	切削加工技術指針策定 委員会委員長
		32 千円
	委員謝礼	切削加工技術指針策定 委員会委員
		312 千円
	ヒアリング調査旅費	研究員
		87 千円
	委員交通費	切削加工技術指針策定 委員会委員長及び委員
		558 千円
	委員会会場費	(財)機械振興協会
		31 千円
	会議費	カメラ、西洋フードシ ステム、ニュートーキョ ー
		49 千円
	合 計	1,139 千円
7.その他		
	内 容	金 額
	消費税	0 千円
	合 計	0 千円
8.再委託の割合	0%(B/A)	